



JR木次線の利用促進にご協力ください!

沿線で作る木次線利活用推進協議会では、利用促進に向けた活動のほか、JR 木次線を利用した移動、団体が行う利用促進イベント、事業者のツアー造成・販売支援等について、必要な経費の一部を助成しています。

※助成事業は予算に限りがありますので、早めにご相談ください。



毎月12日は木次線応援の日!

協議会では、木次線が全線開通した昭和12年12月12日に因み、毎月12日を「木次線応援の日」として、利用促進を図っています。職場への通勤やお買い物など、いつものマイカー移動をちょっとお休みして、この日は木次線を利用してください。

〈一般利用者向け〉

木次線乗車(2次交通含む)を含む旅行への補助

3名以上のグループでJR木次線4区間以上の乗車を含む旅行等の移動(中国地方5県内)をした場合に、JR運賃及び貸切バスなど2次交通にかかる経費に対し1/2(上限10万円)補助を行っています。

令和8年度は、2次交通の補助対象事業者を全国に拡充いたしました。(ただし、島根県外に営業所を有する事業者を利用する場合にはJR木次線5区間以上の乗車が条件)

観光列車「あめつち」も対象となりますので、是非本補助金を活用してお得な旅へお出かけください。

注意事項

- ①7日前までに事前申請が必要です。 ②100円未満は切り捨てとなります。
- ③下記〈沿線対策事業〉との併用はできません。



申請様式はこちら▶



沿線対策事業 1 学校行事等での利用: 木次線区間の運賃全額助成

遠足や校外学習など、学校行事等で木次線を利用した沿線市町の幼稚園・こども園・小・中・高等学校等の園児、児童、生徒、先生を対象として、JR木次線の運賃(観光列車「あめつち」は除く)を全額助成します。



沿線対策事業 2 住民団体での利用: 利用促進イベントを支援

住民組織など団体で行う木次線利用促進を図るためのイベントや、地域イベントとコラボすることで利用者増加が見込まれる取り組みのほか、令和8年度から沿線のにぎわい創出(景観整備や駅舎の装飾等)を目的とした企画を対象として、必要な経費の一部を助成します。

助成額: 1申請につき上限8万円

※対象となる団体や対象経費、申請期限など詳しくは、事前に下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】木次線利活用推進協議会事務局 奥出雲創生課 電話: 54-2514

ホームページ: <https://kisuki-line.jp/> 検索 木次線ポータルサイト



〜熱中症を予防しましょう〜

お互いに声をかけあい、予防しましょう!

熱中症は気温が高い環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。子どもや高齢者などは特に熱中症になりやすいため注意が必要です。

1 暑さを避けましょう

- ・換気扇や窓開放によって換気しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整(室内での熱中症にも注意!)
- ・外出時は暑い日や暑い時間帯を避ける
- ・通気性、吸湿性、速乾性のある衣服や、外出時の日傘や帽子的着用

2 こまめに水分補給をしましょう

- ・のどが渇く前に水分補給し、たくさん汗をかいた時は塩分補給も行う

3 日頃から健康管理をしましょう

- ・日頃から体温測定などを行い、体調不良時は無理をせず静養する

4 暑さに備えた体づくりをしましょう

- ・暑くなり始めの時期から適度に運動をし、身体が暑さに慣れるようにする(無理のない範囲で行う)

夏の農作業時の注意点!!

- ・日中の高温時はできるだけ作業を行わない
- ・作業前、作業中にこまめな水分・塩分補給、休憩をとる
- ・作業は2人以上で行う
- ・通気性の良い衣服や帽子、ファン付きウェア、送風機等の活用
- ・高温多湿の環境を避け、なるべく日陰での作業を行う

『熱中症かな?』と思ったら

①作業を中断

- (代表的な症状)
- ・汗をかかない
- ・めまい、吐き気、頭痛

②応急処置

- ・涼しい環境へ避難
- ・衣服をゆるめ体を冷やす
- ・水分・塩分を補給

③症状が改善しない⇒医療機関を受診

- ・自力で水が飲めない
- ・意識がない場合 **119番へ**

今き知る。未来の力になる。



経済センサス 活動調査

令和8年6月1日

4月~5月にかけて調査票をお届けします。

回答はインターネットがおすすめです。

総務省・経済産業省・都道府県・市区町村からのお知らせです。

全国すべての事業所・企業が対象です。